



桜町中校報

教育目標：心身ともに健康で人間性豊かな行動力のある生徒の育成

真善美

めざす生徒像

思慮深く創造性のある生徒
心豊かで思いやりのある生徒
健康で明るく気力のある生徒
規律を重んじ協力して実践する生徒

令和6年5月24日(金)
第8号
(文責：校長 勝部)

卒業生が教育実習に来ています！

今週から3週間の予定で、本校の卒業生2名が教育実習生として来校しています。本日で5日が経ちましたが、生徒の皆さんは実習生の先生方と何かしらのお話をする事ができたでしょうか。配属の学級や授業をする学級などは決まっていますので、自分たちから積極的に寄って行かないと、接点を持ってない人も多いと思います。せっかくの機会ですので、実習生が学ぶだけでなく、生徒にとって学びとなる期間になればいいなと思っています。

実習生の先生方からひと言いただきました。来週からは実際の授業が入ってくると思います。

小山直登 先生（1学年配属 国語）

秀明大学学校教師学部4年の小山直登です。大学では専門教科の国語はもちろん教育学について幅広く学んでいます。中学生時代はテニス部と特設合唱部、一関一高では音楽部に所属していました。そのため、母校の桜町中学校で合唱を聴くと、とても懐かしい気持ちになります。自分が在学していた頃と変わらずに「合唱の桜町中」として盛んに行われていることを知り、とても嬉しく、今後も引き継いでいってほしいと思っています。将来、岩手県の教員を目指す身として、実習に熱心に参加し、分かりやすく面白い授業づくりができるように努力し続けたいと思います。つい最近まで学校に通っていたかのような不思議な感覚を味わいながらも、今の桜中生の成長の支えになれるように、実習生として、そして桜町中の先輩として、3週間という短い間ですが精一杯頑張ります。桜町中学校のみなさん、よろしくお願いいたします。

木村仁知翔 先生（3学年配属 国語）

都留文科大学教養学部4年の木村仁知翔と申します。中学生時代は、女子バレー部に所属し、仲間とともに日々練習に励んでいました。初めての中学校実習ということでも緊張していますが、桜町中学校のみなさんが、学年間わず元気なあいさつをしてくれるため、毎日生徒からパワーをもらっています。

3週間という短い期間ですが、たくさんの生徒、先生方とコミュニケーションを図り、多くのことを吸収して将来に生かせるような教育実習にしたいと思っています。みなさん、よろしくお願いいたします。

教師の仕事は体力がないと続きません。健康管理に気を付け、たくさんのことを学び、有意義な実習になればいいですね。

あいさつ運動を行いました

今週は、朝、正門のところで、PTA生活指導委員会によるあいさつ運動を行いました。ご協力をいただいた保護者の皆さん、また連日参加してくれた前野PTA副会長さん、生徒会執行部の皆さん、ありがとうございました。また、本日は更生保護女性の会の皆さんによる毎月のあいさつ運動もありました。

私も立たせていただきましたが、自信を持って言えるのは「本校生徒は全員あいさつをしています。」ということです。今日は学校でこれを頑張ろうとか、今日は学校に行きたくないとか、様々な思いで登校してきていると思うのですが、全員しっかりあいさつをしていました。『あいさつは人間関係づくりの第一歩』ですので、これからも恥ずかしがらずに声を出してほしいです。

